

(都市整備局)

事業名	事業費	説明
30年7月豪雨災害被災者への仮住宅の提供	1,960万2千円 財源内訳 〔県委託金 1,960万2千円〕	30年7月豪雨災害の被災者が安心して将来設計できる環境を整えるため、自宅の再建、修理又は取得を予定している者について、民間賃貸住宅の入居期間を延長する。 入居期間 2年7月末まで
広島市都市計画マスタープランの評価・検証	280万円 財源内訳 〔一般財源 280万円〕	広島市都市計画マスタープランの見直しを検討するため、29・30年度に県が実施した都市計画基礎調査等を踏まえて、都心の歩行者交通量や観光客数の推移などの評価指標により、評価・検証を行う。
魅力ある都心づくり推進事業	512万1千円 財源内訳 〔県負担金 215万円 一般財源 297万1千円〕	広島都市圏の発展をけん引する役割を担う都心部のまちづくりの推進について、県・市が連携して取り組む。 都市再生緊急整備地域における再開発を阻害する要因の分析及び開発促進に係る検討 430万円 (負担割合 県1/2、市1/2) 都市再生緊急整備協議会の設置等 82万1千円

事業名	事業費	説明
広島大学本部跡地の活用	629万9千円 財源内訳 〔一般財源 629万9千円〕	旧理学部1号館を平和に関する教育研究等の新たな拠点とするため、有識者等の意見を聴くための懇談会を開催し、施設の整備内容や運営体制を盛り込んだ基本計画を策定する。
中央公園の今後の活用	1,908万8千円 財源内訳 〔基金繰入金 1,020万円 一般財源 888万8千円〕	サッカースタジアムの建設場所を中央公園広場としたことを踏まえ、有識者会議を設置し、中央公園の今後の活用に係る基本方針を策定するとともに、旧広島市民球場跡地の活用に係る民間活力の導入可能性について調査を行う。

事業名	事業費	説明
⑨ サッカースタジアム 建設の推進	1億8,974万9千円 財源内訳 〔 財産運用収入 4万9千円 寄附金 2,000万円 繰越金 1億1,000万円 一般財源 5,970万円 〕	基本計画の策定 4,980万円 元年5月に策定した基本方針に基づき、基本計画を策定する。 (主な実施内容) ①施設計画の作成等 ②市民等へのWEBアンケートの実施 ③賑わい機能に係る民間事業者へのヒアリング (スケジュール) 元年度 基本計画の策定 2～5年度 基本設計、実施設計、建設工事等 意見を聴く会の設置 80万6千円 基本計画の策定に当たり、有識者や関係者で構成する意見を聴く会を設置する。 建設推進会議の設置等 121万円 基本計画の策定を含め、スタジアムの建設に係る合意を図る場として、市長、県知事、商工会議所会頭を構成員とし、サンフレッチェ広島会長をオブザーバーとする建設推進会議を設置する。 他都市のスタジアム視察等 253万2千円 土壌汚染調査 97万7千円 個人寄附金の募集に係る事務費 437万5千円

事業名	事業費	説明
		基金の設置 1億3,004万9千円 サッカースタジアム建設のため、基金を新たに設置し、寄附金等を積み立てる。
広島市緑の基本計画の改定	664万6千円 財源内訳 〔一般財源 664万6千円〕	緑の基本計画の改定に向け、緑の現況調査等を実施する。
基町地区の活性化	3,491万円 財源内訳 〔市債 720万円〕 〔一般財源 2,771万円〕	基町地区において顕在化している高齢化の進展などの様々な地域課題に対し、地区住民等と協働して取り組む。 宿泊機能を持つ介護事業所の導入 1,090万円 (スケジュール) 元年度 整備地にある元基町診療所の解体、整備を行う介護事業者の選定等 2年度 介護事業所の整備、開所 県営基町住宅跡地の暫定整備等 2,401万円 国有地である県営住宅跡地の管理委託を受け、一部をオープンスペース（開放広場）として暫定的に整備する。 (スケジュール) 元年度 実施設計、工事 2年度 供用開始